



多数の一般演題応募 ありがとうございました!!



全国学会(in 下関)で行った会場視察時に撮影した8年前の写真。左奥は会場の海峡メッセ下関、中央は海峡ゆめタワー。左下はゆめ広場の銅像…ではなく、榎林学会長。一般演題応募のお礼である今号に使うと決めていた、思い出のある一枚。

163

この数字を聞いて何を思い浮かべますか？

「素数？」…あ、確かに！

「浅○真央さんの身長？」あ、そう…。へ～…。

「一般演題の数？」そう！それを聞きたかった！
そうなんです。皆さんのお陰でこんなに集まりました。実は二回延長して「もうこれ以上の延長は無理！」という状況でした。なのに、締切前日でも最低目標数を超えず。締切日の朝チェックしても足りない…。午前中に何度更新を押しても伸びず…。これはマズいのでは？と思っていると、午後からどんどん伸び、**最終日応募数 40 題！** ↗

無事目標クリア！感謝感謝。海より深く感謝。皆さん、本当にありがとうございました！

さて、こうなると後は…

一般演題 163 題。それはつまり、「163 の学びと、163 の発見が下関に集う」ということです。皆さん、その学びと発見の当事者になりませんか？
おいでませ、山口へ！！

ちょっとひとこと

163 は『ヘーグナー数』という、9 つしか存在しない特別な数字の一つで、数学好きは「おっ、163！」と思うほど有名だそう。ちなみに安岡は「イチローさん」の語呂合わせしか思い浮かばず… (安岡)